



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第199号 (平成 30 年 10 月 25 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>
「森林資源の現況(平成 29 年 3 月 31 日現在)」について
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(140)
- 3 <図書紹介> ISA 公認テキスト アーボリスト®必携 リギングの科学と実践
(一社)全国林業改良普及協会)
- 4 <森林・林業白書から> 「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」における治山施設の効果
- 5 <樹をとりまくはなし>(20) ブッソウゲ
- 6 <イベント情報>
 - ◆ 第 59 回やまね学校 ～やまねの好きな寝床はどれだろう？ 冬眠と水分の関係～
 - ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



-
- 1 <林野庁プレスリリースから>
「森林資源の現況(平成 29 年 3 月 31 日現在)」について
-

林野庁は、全国森林計画策定に当たって、平成 29 年 3 月 31 日現在における森林資源の現況について、都道府県等を通じて調査を行い、結果を取りまとめました。この度、全国森林計画の閣議決定と併せて公表いたします。

概要

林野庁は、全国森林計画策定の基礎資料を得ることを目的として、おおむね 5 年ごとに、森林資源の現況について調査を行い、全国森林計画の閣議決定と併せて公表しています。

集計結果は、以下の URL から御覧になれます。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/genkyou/h29/>

(1) 森林面積

平成 29 年 3 月 31 日現在における我が国の森林面積は 2,505 万 ha で、ほぼ横ばいで推移しています。

(2) 森林蓄積

平成 29 年 3 月 31 日現在における我が国の森林蓄積は、人工林を中心に年々増加

してきており、52 億 4 千万 m³ となりました(前回調査時(平成 24 年 3 月 31 日現在): 49 億 0 千万 m³)。

<添付書類>

別添 1 森林資源の現況(PDF : 79KB)

別添 2 森林面積・蓄積の推移(PDF : 53KB)

別添 3 齢級構成(PDF : 50KB)

* 添付書類については、次の URL からダウンロードできます。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/keikaku/181016.html>

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(140)

北海道名寄市で森のようちえんを行いました。美しく色づいた森を歩くと、ミズナラのドングリがたくさん落ちていました。子どもたちは、ドングリ拾いに夢中、用意していた袋がまるでリスのほっぺたみたいにふくらんでいます。そこで、「おおきなドングリじゃんけんぽん！」と握った手を広げてドングリを競い合うじゃんけんをしました。「今度は小さなドングリ！」「きれいなドングリ！」とリクエストが絶えません。「じゃあ！根っこのはえてるドングリじゃんけんぽん！」ここで、子どもたちにドングリも生きているんだという感覚が生まれました。すこし、じゃんけんはお休みして、ドングリは根を出して雪の下で春まで待つことや、その先の成長の話しをしました。「じゃあ！お家で育てることできるの？」愛着がわいてきました・・・！ここで、エゾリス出現！といけば最高ですが、深い森ではそう簡単に人前には生き物が出てきませんね！

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <図書紹介> ISA 公認テキスト アーボリスト®必携 リギングの科学と実践 (一社)全国林業改良普及協会

ISA では、数十年間にわたり数多くの科学的研究、現場実証を重ねてきました。本書はその実績をもとに、アーボリストが安全にリギングを行うために必要とされる重要な基礎技術および事故防止のためのベストプラクティス(一番良い方法)をまとめたものです。器材の選択と使用、結び、枝下ろしの基本的な方法から始まり、リギングの技術と方法を複合して重い材を除去する上級テクニックまで紹介しています。(B5版 184 頁 5,400 円(本体 5,000 円))

この本で学べる主な技術】

- ・リギング器材の安全率と限界使用荷重
- ・リギングノット
- ・バットタイ、チップタイ

- ・バランスィング
- ・リディレクトリギング
- ・フィッシングポールテクニック
- ・メカニカルアドバンテージ
- ・ロードトランスファーとドリフトライン
- ・スパイダーリギング
- ・スピードライン
- ・ブロッキング(断幹)
- ・衝撃荷重の軽減方法

主要目次

- 第1章 序論 技術と方法
 - 第2章 器材とロープ
 - 第3章 リギングノット
 - 第4章 枝下ろし 基本編
 - 第5章 枝下ろし 上級編
 - 第6章 複合的なリギングテクニック
 - 第7章 リギング作業における力の理解
 - 第8章 トップカットと重量のある材のリギング
- 資料編

4 <森林・林業白書から>「平成 29 年 7 月九州北部豪雨」における治山施設の効果

平成 29(2017)年7月5日から6日にかけて、停滞した梅雨前線に温かく湿った空気が流れ込んだ影響等により、線状降水帯が形成・維持され、同じ場所に猛烈な雨を継続して降らせたことから、九州北部地方で記録的な大雨となった。

この大雨により、林野関係では、福岡県で、林地荒廃 1,016 か所、林道施設被害 1,012 か所など甚大な被害が発生した。

福岡県朝倉郡東峰村猿喰地区では、今回の大雨により、山腹崩壊が発生した。しかし、福岡県が整備した治山ダム群(昭和 45(1970)年度及び平成 27(2015)年度施工)3基が溪床や山脚を固定し、溪床勾配を緩和していたことにより、溪岸侵食による斜面崩壊や流木の流出等が抑制された。その結果、当該地区の山地災害による被害が軽減された。

(平成29年度森林・林業白書 事例から)

5 <樹をとりまくはなし>(20) ブッソウゲ

ハイビスカスといえば華やかな南国の花。南国の観光地のイメージがありますが、沖縄では少し違うようです。沖縄の南の方では後生花(ぐそうばな)と呼ばれ、死人の後生の幸福を願って墓地に植栽する習慣があるそうです。墓場じゃない場所にも咲いていると思ったら、戦時中亡くなった方がいた場所だったという話もあります。南国では

雑草のように生えるハイビスカス。ハイビスカスの名前自体もアオイ科の品種を表すこともあるようで、漠然としています。またハイビスカスは原産地不明、謎めいている花ですが、熱帯アジアでは靴磨きに使われるという庶民派な一面もある花です。やってみたらウエットテッシュのようで靴のホコリがとれました。

学校が始まり秋になり、園芸ボランティアのママ友が「学校のハイビスカスが咲いたね！」と何度も言います。聞くとそのママ友は沖縄出身で、昨年お父さんが亡くなられたそうです。「ハイビスカスが咲いたね。」花を眺める彼女は、天国のお父さんを思っているように見えました。

(森林インストラクター 岩谷 美苗)

6 <イベント情報>

◆第 59 回 やまね学校 ～やまねの好きな寝床はどれだろう？ 冬眠と水分の関係～

「ヤマネは約半年間も冬眠するけれど、口の中がカラカラになったりしないのかな??」この実験は、そんな疑問から生まれました。

ヤマネの冬眠には「ある程度」の湿度が必要だとされていますが、実際にどれくらい必要かは、はっきりとはわかっていません。そこで今回のやまね学校では、ヤマネが好む寝床を作ります！水分量を変えた土(寝床)をいくつか用意して、どこで寝てくれるかを調べてみましょう！

…実はこの実験、1年前のやまね学校の「発展形」です。

去年は「ジメジメな土、しっとりした土、カラカラな土」の3種で行ったところ、大方の予想を裏切って「カラカラの土を好む傾向がある」ということがわかりました。

これを受けて、今年は「カラカラ」でもさらに水分量を変えて実験します。

昨年参加していない方でも、気軽に参加できる内容です。一緒にヤマネの不思議に迫りましょう！

○こんな人におススメ！！

- ・ヤマネに会いたい人
- ・ヤマネのことを詳しく知りたい人
- ・野生動物や自然が好きな人
- ・生き物の研究をしてみたい人
- ・ヤマネ研究の第一人者である湊先生に会いたい人
- ・冬の清里を楽しみたい人

…などなど。

○講師紹介

湊 秋作(みなと・しゅうさく)

(清泉寮やまねミュージアム館長／関西学院大学教授)

和歌山県出身。ヤマネ研究家、理学博士。小学校教員を24年務めた後、キープやまねミュージアム館長に着任。

教員時代は、ビオトープ作り(田んぼ水族館)などをはじめとした環境教育や情操教育に情熱を注いでいました。

現在は関西学院大学 教育学部教授として、教鞭もとっています。

ライフワークは、ヤマネの総合的な研究と国内外のヤマネ研究のネットワーク作り、ヤマネの保護及び森林保全の具体策研究の他、原体験教育、田んぼの学校、湿地の保護運動などなど。

<著書>

『ヤマネはねぼすけ?』(福音館書店)、『森のスケーターヤマネ』(文研出版)
『「田んぼの学校」あそび編』(農文協)、『「田んぼの学校」まなび編』(農文協)
『田んぼの楽校』(山と溪谷社)、『小学3年生国語(上)ひろがる言葉』(教育出版)
『ヤマネの森を見あげてごらん』(佼成出版社)、「ヤマネの棲む森」(学研)
『企業が伝える生物多様性の恵み』(経団連出版)など

○過去のプログラムの様子(体験レポート)はこちらをご覧ください

<1年前のやまね学校の様子(第55回)>

<http://www.keep.or.jp/taiken/otona/yamane/report1802.php>

[日 程] 2018年12月8日(土) 13:30~9日(日) 14:00 <1泊2日>

[場 所] 清泉寮(公益財団法人キープ協会/山梨県北杜市高根町清里)

★男女別相部屋

[対 象] 小学生以上のご家族・一般の方

[定 員] 30名(先着順)

[料 金] 一般 25,000円、学生 22,000円、小学生 18,000円(税込・宿泊食費込)

[割 引] 【早割】11/24(土)までにお申し込みの方:2,000円引

【家族割】ご家族で参加の場合:1名につき1,000円引

【会員割】フレンズオブキープの会員の方:通常料金から10%引

※【会員割】は他の割引と併用ができません。ご了承ください。

・主 催/公益財団法人キープ協会

○スケジュール(予定)

<1日目>

13:30 はじまりの会

13:50 1時間目:心と体をほぐす時間

14:10 2時間目:ヤマネがすむ森の探検
~ヤマネが寝てくれそうな土を探そう!~

16:00 休憩・チェックイン

17:00 3時間目:湊校長先生のお話

18:00 夕食

19:00 4時間目:ヤマネの行動観察とセッティング
~ヤマネの寝床を作ろう!~

20:30~ 終了予定 夜の自由参加プログラム

① 観察のつづき

② 懇親会

<2日目>

07:30 朝食、チェックアウト

09:00 5時間目:実験を整理する時間

